

第33回(2025年)木原記念こども科学賞の選考結果

選考部門	最優秀賞	優秀賞	神奈川新聞社賞	努力賞	計	応募数
小学校低学年(1~3学年)の部	1	2	1	3	7	74
小学校高学年(4~6学年)の部	1	3	1	3	8	50
中学校の部	1	1	1	4	7	38
計	3	6	3	10	22	162

(参考:過去の選考結果)

	最優秀賞	優秀賞	努力賞	応募総数
第1回(1993年)	4	10	12	26
第2回(1994年)	9	15	38	62
第3回(1995年)	2	10	31	121
第4回(1996年)	3	8	15	122
第5回(1997年)	3	8	21	161
第6回(1998年)	3	9	23	192
第7回(1999年)	3	10	15	160
第8回(2000年)	3	11	17	215
第9回(2001年)	3	10	16	193
第10回(2002年)	3	8	19	300
第11回(2003年)	3	8	16	260
第12回(2004年)	2	9	16	213
第13回(2005年)	2	6	12	288
第14回(2006年)	3	6	12	236
第15回(2007年)	3	7	12	266
第16回(2008年)	2	6	6	239
第17回(2009年)	3	6	7	224
第18回(2010年)	2	6	8	253
第19回(2011年)	2	6	8	211
第20回(2012年)	2	6	9	196
第21回(2013年)	2	6	9	556
第22回(2014年)	3	6	6	238
第23回(2015年)	2	6	6	238
第24回(2016年)	3	5	5	183
第25回(2017年)	3	7	6	197
第26回(2018年)	2	5	10	227
第27回(2019年)	5	5	9	206

	最優秀賞	優秀賞	神奈川新聞社賞	努力賞	応募総数
第28回(2020年)	3	6	3	11	164
第29回(2021年)	4	7	3	11	317
第30回(2022年)	5	8	3	10	240
第31回(2023年)	3	7	3	9	264
第32回(2024年)	3	5	3	14	188

第33回木原記念こども科学賞 応募校一覧

(順不同)

小学校の部

個人応募(46作品)

学校応募(25校78作品)

【横浜市立】 幸ヶ谷小学校
黒須田小学校
今宿小学校
桜井小学校
三ツ沢小学校
新吉田第二小学校
新石川小学校
新鶴見小学校
都田西小学校
東俣野小学校
奈良小学校
馬場小学校
洋光台第一小学校
嶺山小学校

【相模原市立】 若松小学校
清新小学校
谷口小学校

【横須賀市立】 汐入小学校

【鎌倉市立】 玉縄小学校

【茅ヶ崎市立】 柳島小学校

【小田原市立】 曽我小学校

【中井町立】 井ノ口小学校

【私立】 清泉小学校
搜真小学校
日本大学藤沢小学校

※学校応募のみ記載

中学校の部

個人応募(7作品)

学校応募(9校31作品)

【横浜市立】 横浜サイエンスフロンティア
高等学校附属中学校
義務教育学校西金沢学園
中学校

【私立】 桐蔭学園中等教育学校
神奈川大学附属中学校
日本女子大学附属中学校
函嶺白百合学園中学校

【相模原市立】 谷口中学校

※学校応募のみ記載

【鎌倉市立】 玉縄中学校

【大磯町立】 国府中学校

第33回木原記念こども科学賞
選考委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

横浜市立浦島小学校	教諭	酒井	佳代
横浜市立豊岡小学校	教諭	隈部	万伊子
横浜市立平沼小学校	教諭	尾方	優祐
横浜市立秋葉小学校	教諭	名原	道子
横浜市立左近山中学校	教諭	岩田	英士
湘南学園小学校	教諭	高橋	慎司
横浜富士見丘学園	教諭	富田	丈久
公立大学法人横浜市立大学木原生物学研究所	准教授	一色	正之
横浜市みどり環境局 環境活動支援センター	担当係長	山本	理奈
木原記念横浜生命科学振興財団	常務理事	村田	正弘

自由研究の進め方

応募されるみなさんへ

1. 実験や観察のまとめかた

■実験や観察を始めたきっかけを書きましょう

- ・どうして観察や実験をしようと思ったか

■実験や観察のしかたを書きましょう

- ・どのような計画をたてたか
- ・どんな材料を使ったか
- ・なにをどのように実験し、観察したか
- ・どのように調べたか

■記録をとりましょう

- ・観察したことや実験の結果を記録しましょう
スケッチをするとより正確な観察ができます
- ・また、観察したことかほかの人にもよくわかります
- ・日にち、時刻天気、長さ、大きさ、重さ、早さなどを正確に記録します。色、手ざわり、音、におい、味なども記録しておきましょう。写真や動画も効果的です。

■記録や結果を整理しましょう

- ・表にまとめてみる
- ・グラフをつくる(折れ線グラフがよいか、棒グラフがよいかとも考える)

■発見したことやわかったことを書きましょう

- ・観察や実験をしてあなたが発見したことやわかったことを書きます。これが全体のまとめになります

■最後に感想を書きましょう

- ・感想、意見、疑問、これからしてみようと思うことなどを書きます
- ・参考にした本、雑誌、図鑑などを最後にかきます
- ・指導していただいた方の名前も書きましょう

自由研究攻略本のご案内 一冬でもできる自由研究のススメ

こども科学賞は、毎年、7月～9月の期間に自由研究の成果を応募していただいている。

生きものの不思議は冬でも探せます。
是非、本冊子を参考に、自由研究を楽しんでください。

ご希望の方には冊子を郵送いたします。
詳しくはHPをご覧ください。



2. 感想文の書き方

■最初に、自分で書こうと思ったことについて考えましょう

- ・調べるときは、参考書、百科事典、図鑑などが役に立ちます

■文章を書き始めます

- ・表題と自分の名前を書きます
- ・次に、感想文を書こうと思ったきっかけを書きましょう
- ・続けて、調べたことや自分の考えを順序よく書きます
- ・このとき、調べたことと自分の考えとをはっきり区別しましょう
- ・自分の考え(感想)を書いて、しめくくります

■ひとおり書き終わったら、次のことを考えながら読みなおしましよう

- ・書きたすことはないか
- ・削るところはないか
- ・書く順序はよいか
- ・字が間違っていないか
- ・書き表し方はよいか

■表題が内容をよくあらわしているかどうか

- ・もう一度見直しましよう

■感想文の最後に

- ・調べた本、辞典、図鑑などを書きます
- ・指導していただいた方の名前を書きます

ご寄附のお願い

～こども達の科学活動にご支援をお寄せください～

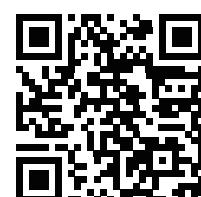


こども科学賞は、皆様からの貴重なご寄附を原資に、応募者への支援・副賞などの充実を図っています。

生きものと研究を愛するこども達へ、
熱いエールを！

自由研究
×
Science
||
Love&Passion!

それがすべてのはじまりだった



謝 辞

今年度のこども科学賞は、下記の皆様の温かいご支援・ご協力に支えられて運営しています。紙面上で失礼ながら、心より厚く御礼申し上げます。

ご支援いただいた皆様

ご後援

【神奈川県内の教育委員会】

神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会

【地域の大学・研究機関】

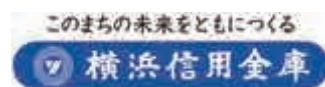


国立研究開発法人海洋研究開発機構



横浜市立大学木原生物学研究所

【地域の企業、金融機関】



特別協賛



ThermoFisher
SCIENTIFIC

サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社

ご寄附

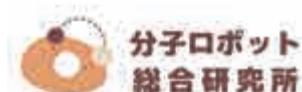
【地域の企業、ライフサイエンス関連企業】



中外製薬株式会社



株式会社天然素材探索研究所



分子ロボット総合研究所



BasicBIO.

ベーシックバイオ合同会社



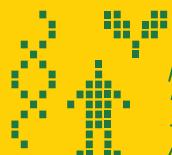
株式会社サカタのタネ



日本濾水機工業株式会社

【個人（ライフサイエンス関連の研究者等）】

増田和成様、小井土大様、丸山正様、水野篤志様、村田正弘様 他、計 10 名
(ご希望によりお名前非公表の方含む)



公益財団法人
木原記念横浜生命科学振興財団

第33回木原記念こども科学賞作品集

発行年月 2025年12月

発行 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

〒230-0045

神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6

TEL. 045(502)4810 FAX. 045(502)9810

E-Mail. kodomo@kihara.or.jp

制作協力 株式会社シュービ